

### 絶滅危惧種繁殖 保護対策を要望

トヨタ施設建設予定地  
トヨタ自動車、豊田市  
と岡崎市にまたがる約66  
0畝の山間地に建設を計画  
している、テストコースを  
含む研究開発施設の予定地  
が、絶滅危惧種の野鳥「ミ  
ソゴイ」の繁殖地になって  
いるとして、県内の野鳥保  
護団体などは、同社と県に  
ミソゴイの保護対策を講じ  
るよう要望した。

要望書によると、予定地  
内の2か所で先月から今月  
にかけて、ミソゴイの営巣  
が確認された。

団体側は、「ミソゴイは  
湿地や草地、森林からなる  
里山環境に生息する。予定  
地一帯で環境を保護する必

要がある」として、代替地  
の確保や、予定地を水鳥が  
生息する重要な湿地として  
「ラムサール条約」に登録  
することなどを求めている。  
る。

要望を受け、県企業庁は  
今後、2年ほどかけてミソ  
ゴイへの影響を詳しく調べ  
ることにしている。

## 希少鳥トヨタ施設に「待った」

### テストコース予定地 ミソゴイ営巣

トヨタ自動車が発知豊田市と岡  
崎市にまたがる山林に計画するテス  
トコースの建設予定地で、絶滅危惧  
種のサギ科の鳥ミソゴイの営巣を確  
認したと6日、自然保護団体でつく  
る愛知県野鳥保護連絡協議会が発表  
した。用地を造成する同県企業庁は、  
来年度までミソゴイを含む希少生物  
の調査を続けることを決めた。この  
ため、来年度中に予定していた着工  
は延期される可能性が高くなった。

同協議会によると、7月8日の調  
査で、豊田市内の予定地でミソゴイ  
の巣を見つけ、親鳥2羽とヒナ3羽  
を確認した。写真、21世紀の巨大開  
発を考える会提供。15日には岡崎市



### 愛知県、着工延期も

内の予定地で、営巣途中で放棄され  
たとみられる巣が見つかった。同協  
議会は「巣を作ったことから雌雄2  
羽の存在が推測され、計7羽が生息  
しているとみられる」という。

ミソゴイは環境省のレッドリスト  
で絶滅危惧IB類（近い将来絶滅の  
危険性が高い）に分類されている。  
同協議会は今年4日付で、県とト  
ヨタ自動車に、予定地を別の場所に  
変更してミソゴイの生息地を保全す  
るよう要望書を出した。県企業庁は  
「予定地の変更は考えておらず、で  
きるだけ野生生物の保護に配慮して  
事業を進めたい」とした上で、営巣  
確認には2年間が必要なこと、  
現在行われている調査を来年度まで  
継続することを決めた。

トヨタ自動車広報部は「環境に配  
慮した計画を考えており、今後も専  
門家の意見をいたしながら計画を  
進めたい」とコメントした。